



AQUOS *K*

SHF34

取扱説明書

目次

注意事項

基本操作

電話・電話帳

メール

インターネット

アプリケーション

機能設定

付録

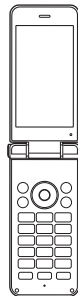
ごあいさつ

このたびは、「AQUOS K SHF34」(以下、「SHF34」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

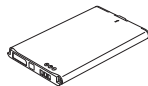
ご使用の前に本体付属の『取扱説明書』『設定ガイド』またはauホームページより『取扱説明書 詳細版』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。本製品に付属の『取扱説明書』『設定ガイド』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



電池パック
(SHF34UAA)

- 取扱説明書(本書)
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- 卓上ホルダ
- microSDメモ리카ード
- ACアダプタ
- イヤホン
- microUSB-3.5φ変換ケーブル
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

◎本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。
実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■「取扱説明書」「設定ガイド」

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■「取扱説明書 詳細版」

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した「取扱説明書 詳細版」は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual and Setting Guide from the au website (available from approximately one month after the product is released).

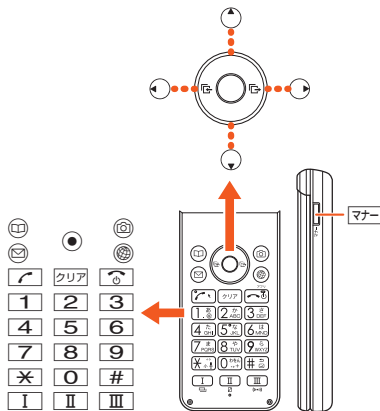
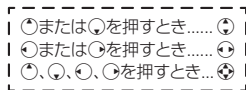
『取扱説明書(英語版)』『設定ガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL:<https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



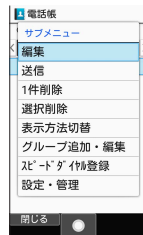
■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書で[]囲みしている箇所は、①や②でメニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどを選択して③(OK／選択／設定／決定／確定)を押すまでの操作を省略して表記しています。

例：電話帳の連絡先を編集する場合

1 待受画面で④→編集する連絡先を選択→⑤(サブメニュー)→[編集]

「編集」を⑥で選択して、⑦で決定する操作を表しています。



◎キー操作について詳しくは、「基本的なキー操作を覚えよう」(▶P.49)をご参照ください。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card 04 LEを取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。

また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



実際の画面

本書の表記例

◎ 本書では本体カラー「ロイヤルグリーン」の表示を例に説明しています。

◎ 画面最下行に表示された内容を●／⓪／Ⓜ／Ⓢ／Ⓤを押して実行する場合、Ⓜ(サブメニュー)のようにカッコ内に内容を表記します。

※ただし、●(OK)／●(選択)／●(設定)／●(決定)／●(確定)の場合は省略して●のみ表記しています。

◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

◎ 本書では「au Nano IC Card 04 LE」の名称を「au ICカード」と表記しています。

◎ 本書では「microSD™メモリーカード(市販品)」および「microSDHC™メモリーカード(市販品)」の名称を「microSDメモリーカード」もしくは「microSD」と省略しています。

◎ 本書に表記されている金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ	ii
同梱品一覧	ii
取扱説明書について	1
本書の表記方法について	2
目次	4

注意事項 7

注意事項	7
本製品のご利用について	7
安全上のご注意(必ずお守りください)	8
取り扱い上のご願い	19
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意	23
本製品の防水／防塵／耐衝撃性能	23
使用時のご注意	24
防水／防塵性能を維持するために	25
充電時のご注意	25
本製品の洗いかた	26
水抜きのかた	26
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い	28
Bluetooth®についてのご願い	28
無線LAN(Wi-Fi®)についてのご願い	28
周波数帯について	28
電波障害自主規制について	30
各種暗証番号／PINコードについて	30
各種暗証番号について	30

PINコードについて	30
データ通信料についてのご注意	31
アプリケーションについて	31
マナーも携帯する	32

基本操作 33

基本操作	33
各部の名称と機能	33
タッチクルーザーEXを利用する	36
タッチクルーザーEXの操作について	36
拡大鏡を利用する	38
待受画面を利用する	38
お気に入りを利用する	39
待受画面の通知アイコン／ショートカットを利用する	39
インフォメーションを利用する	39
本製品の状態を知る	40
アイコンについて	40
お知らせ／ステータスパネルを利用する	41
サブディスプレイを利用する	42
ノーマルメニューを利用する	44
アプリについて	48
シンプルメニューを利用する	48
クイック起動キーを利用する	49
クイック起動キーに登録する	49
クイック起動キーに登録した機能を利用する	49
共通の操作を覚える	49
基本的なキー操作を覚えよう	49
チェックボックスを利用する	50
文字入力	51
文字入力の方法を覚える	51

電話・電話帳.....54**電話.....54**

電話をかける.....54

電話番号を入力して電話をかける.....54

履歴を利用して電話をかける.....55

スピードダイヤルで電話をかける.....57

かんたん発信(音声認識)で電話をかける.....57

ペア機能で電話をかける.....58

au電話から海外へかける(au国際電話サービス).....58

電話を受ける.....59

電話に出る.....59

着信を拒否する.....59

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る.....59

あやしい電話に代理応答する.....60

自分の電話番号を確認する.....60

プロフィールを確認する.....60

プロフィールを編集する.....60

電話帳.....61

電話帳に登録する.....61

電話帳の一覧を利用する.....61

電話帳一覧画面を表示する.....61

電話帳の登録内容を利用する.....62

メール.....63**メール.....63**

Eメールを確認する.....63

Eメールを送る.....65

Eメールを受け取る.....67

新着メールを問い合わせで受信する.....68

SMSを送信する.....68

SMSを受信する.....69

インターネット.....70**インターネット.....70**

インターネットに接続する.....70

データ通信を利用する.....70

ブラウザ.....70

ブラウザを利用する.....70

ブラウザメニューを利用する.....71

ブラウザ画面の表示/文字サイズの拡大/縮小をする.....71

タッチクルーザーEXで操作する.....71

アプリケーション.....72**カメラ.....72**

カメラをご利用になる前に.....72

静止画/動画を撮影する.....73

テレビ.....75

テレビについて.....75

テレビの初期設定をする.....76

テレビ番組を見る.....76

テレビ番組を視聴する.....76

LINE.....77

LINEを利用する.....77

機能設定	78
設定メニューを表示する	78
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	78
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	78
無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする	78
Wi-Fi®ネットワークに接続する	78
アクセスポイントとの接続を切る	79
付録	80
付録	80
ソフトウェアを更新する	80
故障とお考えになる前に	81
お客さまセンターに電話して位置検索・遠隔ロックをかける／ 解除する	82
アフターサービスについて	83
SIMロック解除について	86
周辺機器のご紹介	86
スイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイク／イヤホンを使 用する	87
主な仕様	88
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	89
Regulatory information	90
FCC Notice	92
輸出管理規制	93
知的財産権について	94

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」で症状をご確認ください。または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。（ただし、LTE/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用した接続はできません。
- 本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。

- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

- ・本製品はメインディスプレイに液晶を使用しております。そのため、偏光特性を持ったサングラスをかけてディスプレイを見ると、サングラスの特性や見る角度によっては暗くなったりゆがんで見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品はメインディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもあります。液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- ・本製品で使用しているメインディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・サブディスプレイに長時間同じ画像を表示させていると残像が発生することがありますが故障ではありません。
- ・撮影などした静止画・動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- ・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

製造元: シャープ株式会社

- ◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です。

※1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制的絵表示の説明

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、電池バック、背面カバー、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

▶P.23「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

▶P.23「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」



禁止

本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意いただきたい例

- スボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ
禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。

▶P.23「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」



水濡れ
禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。

▶P.23「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」



指示

オプション品は、auが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などでおおったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

(おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜く。
 - ・本製品の電源を切る。
 - ・電池パックを本製品から取り外す。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水／防塵については以下をご参照ください。

▶P.23「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や電池パック・指定の充電用機器(別売)の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠ 危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本製品内部の物質などが目や口の中に入った場合は、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本製品内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。

目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。



禁止

赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本製品内のau ICカードスロットやmicroSDメモリーカードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、au ICカードスロットやmicroSDメモリーカードスロットの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたディスプレイ部／レンズや露出した本製品の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

背面カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。

背面カバーが破損し、けがなどの原因となります。



禁止

背面カバーを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

背面カバーを外したまま使用しないでください。

やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえで使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.17)をご参照ください。



指示

本製品を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。

すき間に挟まれると、けがなどの原因となります。



指示

本製品の受話口(レシーバー)/スピーカー部を含む本機上部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 電池パックについて

⚠ 危険



禁止

金属片(ネックレスやヘアピンなど)や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックを本製品にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックを本製品からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックの取り付け方、取り外し方については『設定ガイド』をご参照ください。



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックを本製品に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックの取り付け方については『設定ガイド』をご参照ください。



指示

電池パック内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パック内部の物質などが漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



禁止

電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからauショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告



禁止

指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)や卓上ホルダ(別売)は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トランスコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手
禁止

濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダ(別売)に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、指定の充電用機器(別売)本体を持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



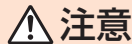
電源プラグ
を抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。



注意



禁止

コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ au ICカードについて

⚠ 注意



指示

au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■ 材質一覧

■ 本体(SHF34)

使用箇所	材質／表面処理
外装(メインディスプレイ面)	アクリル樹脂+PC樹脂／ハードコート
外装(サブディスプレイ面)	アクリル樹脂／ハードコート
外装(ディスプレイ面の側面)	PA樹脂(ガラス入り)／塗装、ハードコート
外装(キー面)	PET樹脂/UV硬化樹脂
外装(キー面の側面)	PA樹脂(ガラス入り)／塗装、ハードコート
外装(ヒンジ部)	上側: PA樹脂(ガラス入り)／塗装、ハードコート 下側: PC樹脂+ABS樹脂／塗装、ハードコート

使用箇所	材質／表面処理
外装(ヒンジ部の側面)	PC樹脂+ABS樹脂／塗装、ハードコート
外装(アンテナ部)	PC樹脂+ABS樹脂(ガラス入り)／金メッキ
外装(ネジ)	ステンレス
外装(電池収納面シール)	PET樹脂
外装(電池収納面金属部)	洋白
カメラパネル	アクリル樹脂／ハードコート
操作キー(飾りを含む)	UV硬化樹脂
サイドキー	PC樹脂／塗装、ハードコート
クイックオープンボタン	樹脂部:PC樹脂 金属部:アルミニウム／アルマイト処理
充電端子(金属部)	ステンレス／金メッキ
充電端子(樹脂部)	ABS樹脂
外部接続端子(樹脂部)	PA樹脂
外部接続端子(金属部)	ステンレス+銅合金／錫メッキ、金メッキ
赤外線ポート	アクリル樹脂
microSDカードスロット(金属部)	カバー:ステンレス 端子:銅合金／金メッキ
microSDカードスロット(樹脂部)	LCP樹脂
au ICカードスロット	カバー:ステンレス 端子:銅合金／金メッキ 樹脂部:LCP樹脂

使用箇所	材質／表面処理
電池端子(コネクタ本体)	PA4T
電池端子	銅合金／金メッキ
当たりカバー	UV硬化樹脂
外装(電池収納部)	PA樹脂(ガラス入り)
水濡れシート	紙／印刷
規格銘板	ポリエステル樹脂／印刷
背面カバー(本体)	PC樹脂(ガラス入り)／塗装、ハードコート、印刷
背面カバー(パッキン)	シリコンゴム
背面カバー(電池蓋スペーサー)	PET樹脂
背面カバー(電池蓋上スペーサー)	PC樹脂
背面カバー(フェリカアンテナ)	フェライト+アルミニウム+PET樹脂+接着剤

■電池パック

使用箇所	材質／表面処理
電池パック本体	PC樹脂
端子部	銅合金／金メッキ
水濡れシール	上質紙／PET樹脂
ラベル	PET樹脂／マットニス印刷

取り扱い上のお願い

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水／防塵性能(IPX5、IPX8、IP5X相当)を発揮するために、指定の背面カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に液体や粉塵などの異物を入れたり、電池パックや充電用機器、オプション品に液体や粉塵などの異物を付着させたりしないでください。雨の中や水滴がついたまま背面カバーの取り付け／取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・ 充電用機器
 - ・ 周辺機器

- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・ SHF34本体
 - ・ 電池パック・au ICカード(SHF34本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。

- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などでおおわれた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やパイプレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。
- 使用中、本製品が温くなった場合、画面の明るさや一部機能を制限する場合があります。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 本製品のキー部分（タッチエリア）を指で触れることでタッチパッドのように操作できますが（タッチクルーザーEX）、以下の場合にはタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ シールなどを貼った状態での操作
 - ・ 水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・ 水中での操作
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。

本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク」が本製品の電子銘板に表示されております。電子銘板は、次の手順でご確認いただけます。

待受画面で◎→[設定]→[その他]→[端末情報]→[認証]

本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモ리카ードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷つける場合があります。
- microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 背面カバー内側の黒いシートは、はがさないでください。シートをはがすと、おサイフケータイ®の読み書きができなくなる場合があります。
- 受話口(レシーバー)／スピーカー部、送話口(マイク)、空気抜き穴をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。

- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- メインディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。
- 本製品の開閉の際に指などを挟まないようにご注意ください。
- 本製品に磁気を帯びたものや金属製のストラップなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。
- 背面カバーを外したまま使用しないでください。また、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。
- 本製品内のau ICカードスロットやmicroSDメモ리카ードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口／スピーカー部、送話口などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると故障の原因となります。

■有機ELディスプレイについて

- 本製品はサブディスプレイ部に有機ELディスプレイを採用しています。有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちる場合がありますが、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。

- 有機ELディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってすじ状の明るさのむらが見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

■電池パックについて



(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)

電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本製品から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

- 破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
- 電池パックを水などで濡らさないでください。電池パックが濡れると故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

■充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■au ICカードについて

- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- au ICカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■カメラ機能について

- カメラレンズが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
- また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
- なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能に関する ご注意

正しくお使いいただくために、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」の内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、液体や粉塵が入る原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となります。すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」に記載されている内容を守らずにご使用になった場合など、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

■本製品の防水／防塵／耐衝撃性能

本製品は背面カバーが完全に装着された状態で保護等級(JIS C 0920)IPX5相当※¹、IPX8相当※²の防水性能およびIP5X相当※³の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。

また、MIL規格準拠※⁴の耐衝撃性能を実現しております(当社試験方法による)。

※¹ IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※² IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところにも本製品を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※³ IP5Xとは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。(塵埃(じんあい)の侵入を完全に防止するわけではありません。)

※4 MIL規格準拠

米国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.7: Shock-ProcedureVIに準拠した規格において、高さ1.22mから合板(ラワン材)に製品を26方向で落下させる試験を実施しています。

※すべての衝撃に対して保証するものではありません。日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

■本製品が有する防水／防塵性能でできること

- ・プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- ・弱め的水流(6リットル／分以下)で常温(5℃～35℃)の水道水を使って本製品を洗うことができます。

■本製品のお取り扱いについて

- ・背面カバーを確実に取り付けてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。接触面に微細なゴミ(髪の毛、砂粒、微細な繊維など)が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- ・背面カバーを取り外している状態で水などの液体がかかった場合、感電や故障の原因となります。そのまま使用しないで、電源を切り、お近くのauショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ・本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- ・手や本製品が濡れているときには、背面カバーの取り付け／取り外しは絶対にしないでください。
- ・常温(5℃～35℃)の真水・水道水にのみ対応しています。常温の真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の真水・水道水で洗ってください。

- ・外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる火災、やけど、故障の原因となります。

■本製品の防塵性能について

- ・本製品の防塵性能はIP5X相当の保護度合いを保証するものであり、砂浜などの砂の上に直接置くなどの利用方法に対して保証するものではありません。
- ・塵埃が本製品に付着したときには、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

■使用時のご注意

- ・水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- ・万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- ・砂や泥がきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本製品に傷が付いたり、破損するなど故障の原因となります。
- ・湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください。(キー操作を含む。)
- ・本製品は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル／分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- ・熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

- ・急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かい場所へ移動するときは本製品が常温になってから持ち込んでください。
万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- ・お風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- ・本製品は水に浮きません。
- ・受話口／スピーカー、送話口の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえで使用ください。
- ・本製品は水に浮きません。
- ・強い雨の中では使用しないでください。
- ・濡れたまま放置しないでください。寒冷地では凍結するなど、故障の原因となります。
- ・砂浜、砂場などの砂の上や、泥の上に直接置かないでください。
受話口／スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- ・背面カバーに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。

防水／防塵性能を維持するために

■ ゴムパッキンについて

背面カバーのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するために重要な部品です。次のことにご注意ください。

- ・はがしたり、傷付けたりしないでください。
- ・背面カバーを取り付けるときは、ゴムパッキンを挟まないように注意してください。また、背面カバーの隙間や外部接続端子部に、先の尖ったものを差し込まないでください。
ゴムパッキンが傷付き、液体や粉塵が入る原因となることがあります。

- ・防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回部品を交換することをおすすめします(有償)。部品の交換につきましては、お近くのauショップまでご連絡ください。

充電時のご注意

電池パック、卓上ホルダ(別売)、指定の充電用機器(別売)やオプション品は、防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- ・本製品に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れた後は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込んでください。
- ・本製品または充電用機器(別売)に水滴や異物が付着している状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。
本製品は防水／防塵性能を有しておりますが、充電用機器(別売)は防水／防塵性能を有していません。濡れたり汚れたりしている状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本製品やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱、焼損、火災、やけど、故障の原因となります。
- ・濡れた手で卓上ホルダ(別売)や指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- ・電池パック、卓上ホルダ(別売)、指定の充電用機器(別売)およびオプション品は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。
火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。

本製品の洗いかた

本製品の表面に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流(6リットル/分以下)で常温(5℃～35℃)の水道水を使い、蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。

背面カバーに隙間が開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。

- ・背面カバーがきちんと取り付けられていることを確認してから、洗ってください。
- ・洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- ・外部接続端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようにしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は、十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
- ・外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水/防塵性能が損なわれるなど、火災・やけど・故障の原因となります。
- ・乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品を発熱・発煙・発火させたり、回路部品を破壊させる原因となります。
- ・乾燥のために、ドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本製品の変形・変色・故障などの原因となります。

水抜きのしかた

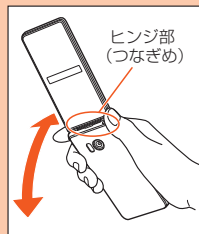
水に濡れた後は、必ず外部接続端子部、受話口(レシーバー部)/スピーカー部、送話口(マイク部)、キー部、ヒンジ部(つなぎめ)、空気抜き穴などの水抜きをしてください。

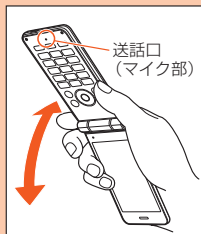
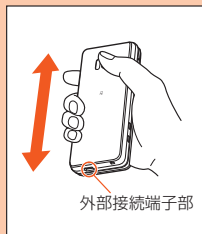
1 本製品表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

2 本製品のヒンジ部(つなぎめ)をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

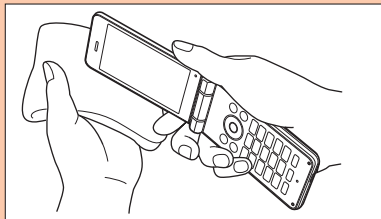
周囲の安全を確認して、本製品を落とさないようにしっかりと握って振ってください。





3 各部の隙間に入った水分を、乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当てて拭き取る

各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出し、水や異物が入っていないことを確認してください。



4 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置し、乾燥させる

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

隙間に溜まった水を、綿棒などで直接拭き取らないでください。

■水抜き後のご注意

水滴が付着したままで使用しないでください。

- 通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
- 外部接続端子などがショートし、火災、故障の原因となるおそれがあります。
- 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®) 機能をご使用の場合のお願い

Bluetooth®についてのお願い

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。

- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報をご確認いただくことができます。

待受画面で●→[設定]→[その他]→[端末情報]→[認証]

- Bluetooth®機能: 2.4FH1/XX4

2.4FH1/XX4

本製品は2.4GHz帯を使用します。

FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

XX4はその他方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS/OF4

2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。

変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

本製品の2.4GHz帯の無線LAN(Wi-Fi®)で利用できるチャンネルは、1～13です。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■Bluetooth®機能ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は、2.4GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

電波障害自主規制について

本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電池パックを外したところに貼ってある銘板シールに表示しています。

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客様センター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ロックNo.(おサイフケータイロック)

使用例	おサイフケータイロックを利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は「入力必要」に変更できます。「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、au ショップ・PiPitもしくはお客様センターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※無線LAN(Wi-Fi®)の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのダウンロードについてはau IDを設定のうえ、auスマートパスより行ってください。au IDの設定については『設定ガイド』をご参照ください。
本製品ではGoogle Play™やEZwebのご利用はできません。
- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモ리카ードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中に画面が消灯なくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、『取扱説明書』『設定ガイド』『取扱説明書 詳細版』に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■周りの人への配慮も大切

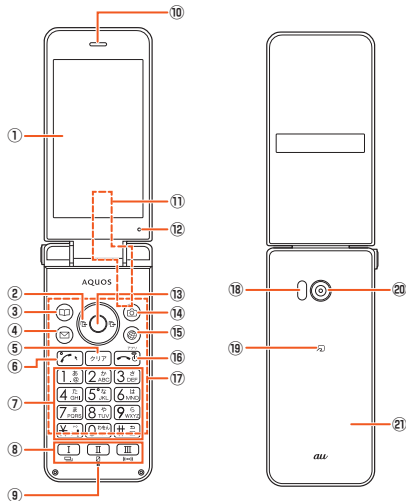
- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのももちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの通話や操作は控えましょう。
- ・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。

- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

基本操作

各部の名称と機能

■ 前面／背面



① メインディスプレイ

② カーソルキー

○ 左キー／着信履歴

○ 右キー／発信履歴

○ 上キー

○ 下キー

③ 電話帳キー

④ メールキー

⑤ クリアクリアキー

⑥ 発信キー

電話番号を入力して[発信]を押すと、入力した電話番号に発信します。

待受画面で電話番号を入力せずに[発信]を押すとペア登録確認画面が表示され、ペア相手を登録するとペア機能を利用できます。(▶P.58)

⑦ [0]～[9]、[*]、[#]ダイヤルキー

⑧ [I]、[II]、[III]クイック起動キー

よく使う電話番号やお気に入りの機能を登録し、キーを押すだけですばやく起動することができます。また、長押しするとアプリ履歴やのぞき見防止、Wi-Fiテザリング機能のON/OFF切り替えを利用できます。(▶P.49)

⑨ 送話口(マイク)

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。

⑩ 受話口(レシーバー)／スピーカー

通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音、着信音やアラーム音などが聞こえます。

⑪ テレビアンテナ

テレビ(ワンセグ)を視聴するためのアンテナを内蔵しています。

⑫ 空気抜き穴

性能を保つための穴です。

⑬ ●センターキー

⑭ ㊟カメラキー

⑮ ㊤ブラウザ／アプリキー

ブラウザメニューを表示します。また、長押しするとアプリ・サービス一覧を表示します。

⑯ ㊦電源／終話キー

操作中は通話や各機能を終了します。長押しすると電源を入れる、または電源メニューを表示させて電源を切る／再起動などの操作ができます。

⑰ タッチエリア(タッチクルーザーEX)

本製品のタッチエリアを指で触れることでタッチパッドのように操作できます。(▶P.36)

⑱ 赤外線ポート

赤外線通信で、データの送受信を行います。

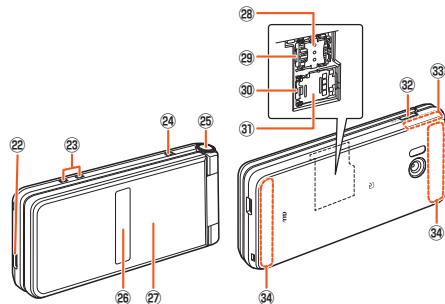
⑲ ㊧マーク

おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。

⑳ カメラ(レンズ部)

㉑ 背面カバー

■ 折りたたみ時(前面／背面／側面)



㉒ 外部接続端子

共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)、周辺機器接続用USBケーブル(市販品)などの接続時に使用します。

㉓ 充電端子

卓上ホルダ(別売)を使用して充電するときの端子です。

㉔ ストラップ取付部

ストラップを取り付ける場合は、背面カバーを取り外してから、ストラップのひもをストラップ取付部から通し、ストラップ取付フックに確実に引っ掛けてから、外側へ引っ張ってください。

㉕ クイックオープンボタン

㉖ サブディスプレイ

着信時、メール受信時、アラーム鳴動時などに情報を表示してお知らせします。

②⑦ 充電／着信ランプ

充電中は電池残量によって赤色／緑色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。

②⑧ au ICカードスロットカバー

②⑨ au ICカードスロット

③⑩ microSDカードスロット

③⑪ microSDカードスロットカバー

③⑫ マナーキー

③⑬ GPS／Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ

③⑭ 内蔵アンテナ

通話時、インターネット利用時、4G(LTE)利用時に使用します。

内蔵アンテナ、GPS／Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ、テレビアンテナについて

◎ アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなることがあります。

受話口(レシーバー)／スピーカー、送話口(マイク)、空気抜き穴について

- ◎ 本製品は受話口とスピーカーを兼用しています。ハンズフリー通話に切り替えたときや通話が終了したときに、耳元でスピーカーから大きな音が鳴らないよう、徐々に設定した音量まで上がります。
- ◎ 受話口(レシーバー)／スピーカー、送話口(マイク)、空気抜き穴をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。

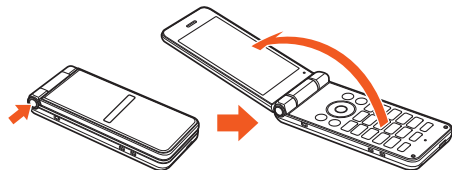
IMEIについて

- ◎ IMEI(端末識別番号)は端末1台ずつに割り当てられた固有の識別番号です。電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールで本製品のIMEIを確認できます。
- ◎ IMEIは修理依頼やアフターサービスなどで必要な情報ですので、IMEIの印刷されたシールは、はがさないでください。
- ◎ 本製品を操作してIMEIを確認することもできます。
待受画面で●→[設定]→[その他]→[端末情報]→[端末の状態]と操作して、IMEI欄を確認

■ クイックオープンボタン

ボタンを押すと本製品を開くことができます。

- ボタンを使用しないで開くこともできます。



- ◎ 本製品を手にとって操作してください。本製品を開くときに自分の顔、人や物などの近くで開かないでください。また、開くときの反動で本製品を落としたりしないようにご注意ください。
- ◎ 本製品の向きによっては、クイックオープンボタンを押しても完全に開かない場合があります。
- ◎ 本製品を閉じるときは手で閉じてください。閉じられない場合は、本製品を完全に開いた状態にしてから、もう一度閉じてください。

タッチクルーザーEXを利用する

本製品のタッチエリアを指で触れることでタッチパッドのように操作できます(タッチクルーザーEX)。タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動してタッチクルーザーEXを有効にすると、画面に表示されるポインタを操作できるようになります。

1 タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動

2 (2秒以上長押し)

タッチクルーザーEXが有効になり「」(ポインタ)が表示されます。

- 機能／アプリによっては、起動すると自動的にタッチクルーザーEXが有効になります。
 - タッチクルーザーEXの操作説明画面が表示された場合は、を押してください。「今後表示しない」にチェックマークを入れてを押すと、次回以降の起動時に操作説明画面を表示しないようにできます。
 - を長押しするごとにタッチクルーザーEXの有効／無効を切り替えられます。有効にするとステータスバーにが表示されます(無効の場合は)。
- タッチクルーザーEXを無効にしたまま機能／アプリを終了すると、再度タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動してもタッチクルーザーEXは有効になりません。
- タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを終了するとタッチクルーザーEXは無効になります。
 - タッチクルーザーEXが有効の場合でも、キー操作は可能です(一部のアプリを除く)。

タッチクルーザーEXの操作について

ブラウザやLINEなどを操作するときに画面上のポインタをマウスのように操作できます。

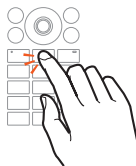


タッチエリア

■ タップ／ダブルタップ

タッチエリアに軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

- ポインタが重なっている項目やアイコンを選択します。静止画表示中などにダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。拡大／縮小の操作は画面に表示されているポインタを起点に行われます。あらかじめ拡大／縮小したい位置にポインタを移動してから操作してください。



■ ロングタッチ

タッチエリアに軽く触れて、指を離さない状態を保ちます。「」の表示が「」に変わります。タッチエリアをタップするか、指を離して数秒間操作をしないと「」に戻ります。

- メニューの表示などを行います。



■ スライド

タッチエリアをロングタッチして「」を「」にします。

タッチエリアに指を軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

- 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。



■ フリック

タッチエリアをロングタッチして「」を「」にします。

タッチエリア上で指をすばやく上下左右にはらうように操作します。

- 目的の方向へはらって画面のすばやスクロールやページの切り替えなどを行います。



■ ピンチ

2本の指でタッチエリアに触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

- ブラウザなどで画面を拡大／縮小します。



■ 自動スクロール

「」を画面端まで移動させた状態で、さらに外側方向へ指をなぞる（スライド）と、自動で画面がスクロールし、指を離すとスクロールが止まります。自動スクロール中に画面のスクロール方向に指をなぞる（スライド）と、スクロールが速くなります。



◎ タッチエリアは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

◎ 次の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- ・ 手袋をしたままでの操作
- ・ 爪の先での操作
- ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
- ・ シールなどを貼った操作
- ・ 水滴が付着または結露している状態での操作
- ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
- ・ 水中での操作

拡大鏡を利用する

画面の一部を大きく表示することができます。

1 各アプリケーションの画面で「マナー」→「タッチエリア部分」を指でなぞって拡大鏡を移動

- ・ 拡大鏡の操作説明画面が表示された場合は、●を押してください。「今後表示しない」にチェックマークを入れて●を押すと、次回以降の起動時に操作説明画面を表示しないようになります。

■ 拡大鏡を終了する

1 拡大鏡利用中に「マナー」

◎ 待受画面や一部のアプリケーションでは利用できません。

待受画面を利用する

待受画面では、本製品の状態を確認できます。

■ 待受画面の見かた



《待受画面》

① ステータスバー

② 時計

③ カレンダー

④ 通知アイコン

不在着信通知や未読のEメール／SMS、お知らせ通知が表示されます。

⑤ かんたん発信アイコン

表示中はかんたん発信（音声認識）で電話をかけることができます。（▶P.57）

⑥ 歩数

⑦ ショートカット

「お気に入り」の1～4に登録したアプリがショートカットとして表示されます。（▶P.39）

⑧ クイック起動キーの登録内容

■ お気に入りを利用する

よく使うアプリやブックマークなどを登録して、待受画面からすばやく起動できます。お気に入りには最大10件まで登録できます。

1 待受画面で(📁)→(✎)(編集)

お気に入り一覧画面が表示されます。

2 お気に入りを選択→(🔍)

選択したアプリが起動／ブックマークのサイトを表示します。

■ お気に入りに登録する

1 お気に入り一覧画面で登録する番号を選択

- ・「未登録」を選択すると新しく登録できます。すでにお気に入りが登録されている場合は新しいものに置き換わります。

2 (📁)(サブメニュー)→[登録]

3 登録するアプリやブックマークを選択→(🔍)

■ お気に入りから解除する

1 お気に入り一覧画面で解除するアプリやブックマークを選択

2 (📁)(サブメニュー)→[解除]→[はい]

■ 待受画面の通知アイコン／ショートカットを利用する

待受画面に表示された通知アイコンやショートカットからアプリを利用できます。

1 待受画面で(📁)→項目を選択→(🔍)

- ・通知アイコンを選択すると通知内容が吹き出しで表示されます。
- ・待受画面のカレンダーや歩数計も同様の操作で選択し、利用できます。

■ インフォメーションを利用する

不在着信通知や未読のEメール／SMS、お知らせ通知があると、待受画面の下部にインフォメーションが表示されます。



1 通知を選択→(🔍)

通知内容に対応するアプリケーションが起動します。

- ・(📁)(閉じる)／(📁)／(📁)を押すとインフォメーションを閉じます。

本製品の状態を知る

アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	ワンセグの電波の強さ ～:レベル表示
	発信中、通話中、着信中
	auのVoLTE対応機種と高音質通話中
	通話保留中
	伝言メモあり
	本体メモリの空き容量低下
	ソフトウェア更新情報あり
	まとめられたアイコンあり
	テレビde写真起動中

◎アイコンによっては件数が重なって表示されます。

■主なステータスアイコン

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態 ～:残量表示 :残量なし ・充電中は電池マークに⚡が重なって表示されます。
	機内モード設定中
	電波の強さ(受信電界) ～:レベル表示 :圏外 ・ネットワークを示すアイコンが左上に表示されます。 :4G(LTE)使用可能 :ローミング中 ・通信中はが重なって表示されます。
	文字種 かな入力方式 :漢字入力 :半角英字入力 :半角数字入力 :半角カタカナ入力 :全角英字入力 :全角数字入力 :全角カタカナ入力 :区点コード入力 2タッチ(ボケベル)方式 :全角入力(大文字モード) :全角入力(小文字モード) :半角入力(大文字モード) :半角入力(小文字モード) :半角英字入力 :半角数字入力 :全角英字入力 :全角数字入力
	マナーモード状態 :通常マナー :ドライブマナー :サイレントマナー
	ハンズフリーで通話中
	着信音量を「サイレント」に設定中
	通話中のマイクを「ミュート」に設定中

アイコン	概要
	Wi-Fi®の電波の強さ ~ : レベル表示 ・通信中はが重なって表示されます。
 	伝言メモ設定中 : 伝言メモなし : 伝言メモあり(1~29件) : 伝言メモがいっぱい(30件)

お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。

また、マナーモードを設定している場合は、モードの変更や伝言メモの確認ができます。

1 待受画面で $\odot$ →ステータスバーを選択→ $\odot$

2 お知らせを選択→ $\odot$

お知らせ内容に対応するアプリケーションが起動されます。

■ お知らせ／ステータスパネルの見かた



《お知らせ／ステータスパネル》

① ミュージックコントローラ

LISMOで音楽再生時に表示されます。

② お知らせエリア

本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。

■ お知らせを操作する

1 お知らせ／ステータスパネル画面で操作したいお知らせを選択→ $\odot$

お知らせの内容にあった操作項目が表示されます。

2 操作項目を選択→ $\odot$

お知らせに対応したアプリケーションを起動したりできます。

■ お知らせを1件削除する

- 1 お知らせ／ステータスパネル画面で削除したいお知らせを選択→ (サブメニュー)→[通知1件消去]

■ お知らせを全件削除する

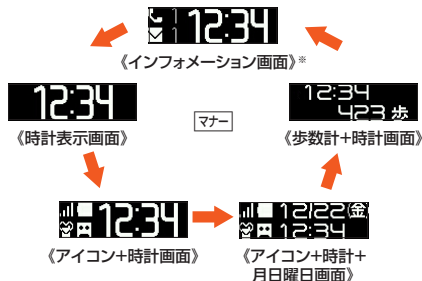
- 1 お知らせ／ステータスパネル画面で (サブメニュー)→[通知全件消去]

・電池残量表示や電波強度表示など、削除ができない通知もあります。

サブディスプレイを利用する

サブディスプレイは、マナーモードや電池残量などの端末の状態、日付・時間、着信相手などの情報を表示してお知らせします。
を押すと表示の切り替えができます。

■ サブディスプレイの見かた



※不在着信や新着メールなどの通知がある場合に表示されます。

■主なアイコン

アイコン	概要
	電波の強さ(受信電界) 強 / 中 / 弱 / 微弱 / 圏外 ※機内モード設定時には表示されません。
	電池レベル表示 ~ : 残量表示 : 残量なし ・充電中は電池マークに が重なって表示されます。
	不在着信 ・着信件数が表示されます。
	: 新着メール(Eメール/SMS) ・新着件数が表示されます。
	伝言メモ設定中 ・未確認の伝言メモ件数が表示されます。
	アラーム鳴動中
	機内モード設定中

■各種情報表示

状態	表示
音声 着信中	電話帳登録あり 「着信中」 登録名*
	電話帳登録なし 「着信中」 電話番号*
	伝言メモ 応答中:「伝言メモガイダンス中」 録音中:「伝言メモ録音中」

状態		表示
通話中	通話中	「通話中」
	音声メモ	「音声メモ録音中」
メール 受信中	電話帳登録あり	「メール受信」 登録名※
	電話帳登録なし	「メール受信」 メールアドレス※または 差出人名称※
SMS受信中		「メッセージ受信」 「新着SMS(〇件)」※
アラーム	アラーム鳴動時	アラーム時刻 アラーム名
	スヌーズ作動中	アラーム時刻 「スヌーズ中」
緊急速報		「緊急速報」
マナー モード	設定時:通常マナー	「通常マナーを設定しました」
	設定時:ドライブマナー	「ドライブマナーを設定しました」
	設定時:サイレントマナー	「サイレントマナーを設定しました」
	解除時:通常マナー	「通常マナーを解除しました」
	解除時:ドライブマナー	「ドライブマナーを解除しました」
	解除時:サイレントマナー	「サイレントマナーを解除しました」
LINEアプリ通知中		LINEアプリから通知される メッセージが表示されます。

*サブディスプレイの「着信相手表示」を「表示しない」に設定した場合は表示されません。

ノーマルメニューを利用する

ノーマルメニューでは、アプリケーションがメニューごとに表示されます。メニューを選択してから項目を選択すると、アプリケーションを起動できます。

1 待受画面で●

ノーマルメニューが表示されます。

2 メニューを選択→●

メニューはダイヤルキー([0]～[9]、[*]、[#])に対応しており、各キーを押してメニューを選択することもできます。

3 アプリケーションを選択→●

■ ノーマルメニューの見かた



《ノーマルメニュー》

◎ お買い上げ時のノーマルメニューは「タイル表示」に設定されています。リスト表示に切り替えるには、ノーマルメニューで◎(表示切替)→[リスト表示]と操作します。

■ ノーマルメニュー一覧

メニュー	概要
auスマートパス	最新ニュースや乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートパス」を最大限活用するためのポータルアプリです。アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、携帯電話を安心・快適にご利用いただけます。 auスマートパスのアプリ取り放題に対応したアプリを取得できます。
安心 安全	
My au	auのご利用料金、データ通信量、ご契約内容、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。
データお預かり	写真やアドレス帳など携帯電話に保存されている様々なデータをauのサーバに預けたり、SDカードに保存したりするアプリです。機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。
遠隔操作サポート	「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などの操作で困ったとき、お客様の端末の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。

メニュー	概要
あんしんフィルター for au	お子さまが「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。
au WALLET	au WALLETをより便利に使いこなすためのアプリです。 au WALLETプリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、au WALLETクレジットカードの請求額の確認、auかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高・お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。
カメラ	
カメラ	静止画を撮影できます。(▶P.73)
ビデオカメラ	動画を撮影できます。(▶P.74)
バーコードリーダー	バーコードにカメラをかざして情報を読み取ることができます。
データフォルダ	撮影した静止画／動画、ダウンロードしたファイルなどを確認できます。
ブラウザ	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。(▶P.70)
アプリ サービス	
LISMO	端末内の楽曲の再生や、Music Storeの楽曲の試聴、購入した楽曲のダウンロードができるアプリです。
Music Store	たくさんの最新曲や人気曲、アルバム、ビデオクリップが揃い、試聴を楽しめ、かんたんに購入できるアプリです。

メニュー	概要
au WALLEt Market	au WALLEt Marketは、日常生活をより豊かにする「こだわりのもの」をお店でもネットでも気軽にご購入いただける、「お買い物上手」なショッピングサービスです。
ウイルスバスター for au	不正アプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできるアプリです。
うたパス	最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など3000以上のプレイリストが聴き放題。いつでも、どんな気分でもピッタリな楽曲と出会えるラジオ型音楽サービスです。
au助手席ナビ	最新のVICS渋滞情報や交通状況を考慮して、目的地までの最適ルートを案内するカーナビゲーションアプリです。
Wowma!	日用品・グルメ・ファッションから家電まで2800万品の品ぞろえからお買い物を楽しむau公式のショッピングアプリです。
auナビウォーク	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートナビゲーションするアプリです。
テレビde写真	テレビde写真受信機(別売)をテレビに接続して、本製品に保存されている写真などをワイヤレスでテレビに映すことができます。
モバオク	オークションサイト「モバオク」に接続します。
モバイルSuica	モバイルSuicaは、携帯情報端末で電車に乗れる、買いものができるサービスです。
楽天Edyアプリ	お買い物のお支払で使える電子マネーです。

メニュー	概要
どこから電話 for au	公共施設やお店・企業からの着信のとき、ホームページなどの情報をもとに自動で名前を表示します。また、振り込め詐欺や悪質な勧誘などの迷惑電話の着信に対して警告を表示させたり、自動で着信を拒否することができますので、知らない番号でも安心して電話に出られます。
SHSHOW	コンテンツのダウンロードや閲覧などができます。
ツール	
アラーム	アラームを利用できます。
カレンダー	カレンダーを利用できます。
メモ帳	メモ帳を利用できます。
電卓	電卓を利用できます。
歩数計	歩数計を利用できます。
赤外線	本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。
ボイスレコーダー	ボイスレコーダーを利用できます。
おサイフケータイ	おサイフケータイ®対応サービスを利用できます。
テレビ	モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを見ることができます。 (▶P.76)
タイマー	タイマーを利用できます。
ストップウォッチ	ストップウォッチを利用できます。

メニュー	概要
au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。
auシェアリンク	携帯電話とタブレットを便利に使えるようにするアプリです。携帯電話への電話着信やEメール(@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、携帯電話をタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。
安心ナビ(探される)	お子さまの居場所を確認できるようにするためのアプリです。保護者の方の端末からパートナー登録を行うことでご利用いただけます。
mamorino Watchナビ	mamorino WatchとBluetooth®で接続(ペア登録)することで、アプリからの電話発信・SMS(メッセージ)送信・mamorino Watchの各種設定などを行うことができます。
世界時計	世界時計を利用できます。
PCメール	普段パソコンなどで利用しているメールアカウントでメールを送受信できます。
タッチクルーザーEX操作ガイド	タッチクルーザーEXの操作方法を表示します。(▶P.36)
ウィジェットシート	ウィジェットを貼り付けて利用できます。

メニュー	概要
LINE	LINEはいつでも、どこでも、好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。(▶P.77)
電話 メール	
着信／発信履歴	着信や発信の履歴画面を閲覧できます。(▶P.55)
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.61)
音声・伝言メモ	音声・伝言メモを再生します。
お留守番サービス再生	伝言・ボイスメールを再生します。
通話設定	通話に関する設定をします。
ペア機能	ペア機能を利用できます。(▶P.58)
スピードダイヤル	スピードダイヤルの一覧を表示します。(▶P.57)
かんたん発信(音声認識)	かんたん発信(音声認識)の設定ができます。(▶P.57)
Eメール	Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。(▶P.65)
SMS	電話番号を宛先としてSMSの送受信ができます。(▶P.68)
プロフィール	プロフィールの確認や編集ができます。(▶P.60)
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.78)

※追加でダウンロードしたアプリは「アプリ取り放題」(▶P.48)に表示されます。

- ◎ アプリケーションを起動してそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎ アプリケーションのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリケーションやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ 本製品を初期化しても、プリセットされているアプリケーションは削除されません。

アプリについて

「アプリ・サービス」では本製品をお買い上げ時にインストール済みのアプリと追加でダウンロードしたアプリケーションを使用できます。

1 待受画面で●→[アプリ サービス]

アプリ・サービス一覧画面が表示されます。

■ タブを切り替える

1 アプリ・サービス一覧画面で●

「プリセット」/「アプリ取り放題」タブが切り替わります。

■ アプリを検索する

1 アプリ・サービス一覧画面でⓂ(アプリ検索)

auスマートパスのサイトが表示されますので、画面に従ってアプリを検索、ダウンロードしてください。

シンプルメニューを利用する

電話やメール、カメラなどよく使う機能をまとめたメニューを利用できます。

1 ノーマルメニューでⓂ(表示切替)→[シンプルメニュー]→[はい]→[はい]

シンプルメニューに切り替わります。文字サイズが「最大」になります。

2 メニューを選択→●

3 アプリケーションを選択→●

■ ノーマルメニューに戻る

1 シンプルメニューでⓂ(表示切替)→[タイル表示]／[リスト表示]→[はい]→[はい]

ノーマルメニューに切り替わります。文字サイズが「中」になります。

■ シンプルメニューの見かた



《シンプルメニュー》

クイック起動キーを利用する

よく使う電話番号やお気に入りの機能をクイック起動キーに登録し、キーを押すだけですばやく起動することができます。

クイック起動キーに登録する

1 待受画面で●→[設定]→[クイック起動キー]

2 登録するキーを選択→●(編集)→機能を選択

- 登録を解除するには、解除するキーを選択→⊕(サブメニュー)→[解除]→[はい]と操作します。

クイック起動キーに登録した機能を利用する

1 ☐Ⅰ / ☐Ⅱ / ☐Ⅲ

- 押したキーに機能が登録されていない場合は、登録確認画面が表示されます。
- クイック起動キーを長押しすると、以下の機能を利用できます。

☐Ⅰ: アプリ履歴を表示

☐Ⅱ: のぞき見防止のON/OFF切り替え

☐Ⅲ: Wi-FiテザリングのON/OFF切り替え

共通の操作を覚える

基本的なキー操作を覚えよう

■ 画面の最下行に表示された内容を実行するには

画面の最下行に表示された内容を実行するには、対応するキーを押します。



- ①「完了」は、●を押します。
- ②「サブメニュー」は、⊕を押します。
- ③「あA1」は、⊙を押します。
- ④「絵・記・顔」は、😊を押します。
- ⑤「範囲選択」は、👉を押します。

■項目を選択するには

表示された項目を選択するには、やで項目を選択してを押します。

メニューに～、、などが表示されている場合は、対応するダイヤルキーを押しても選択できます。

- を押しても、項目を選択できる場合があります。

■1つ前の画面に戻るには

を押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

- //を押しても、戻ることができる場合があります。

■待受画面に戻るには

各機能から待受画面に戻るには、を押します。

- 一定時間キー操作をしないと、自動的に待受画面に戻る場合があります。
- 通話中に各機能呼び出ししている場合は、通話が切れることがあります。
- 操作中の機能やアプリケーションが終了します。

■数字を入力するには

～を押すと、数字を入力できます。

数字を入力する欄の上下に「▲」と「▼」が表示されている場合は、を押すことで、数を増減できます。

■前後のデータへ移動するには

メール表示中などに、を押すと次のデータへ、を押すと前のデータへ移動できます。

■ページスクロールするには

Webページのブラウジング中や、メール一覧画面、メール内容表示画面、データー一覧画面(リスト表示)などでは、を押すと上に、を押すと下にページスクロールできます。

■チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、項目またはチェックボックスを選択することで設定の有効/無効を切り替えることができます。

また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスを選択することで項目の選択/選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
☒	設定が有効/項目が選択されている状態です。
☐	設定が無効/項目が選択されていない状態です。

文字入力

文字入力の方法を覚える

■ 文字入力時の各キーの割り当て一覧

文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
[1]	▶ あいうえおあいうえお	▶ .@/_-:~1	1
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶ アイウエオアイウエオ	▶ .@/_-:1	1
[2]	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
	▶ かきくけこ	▶ a b c A B C 2	2
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
[3]	▶ カキクケコ	▶ a b c A B C 2 ※	2
	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
	▶ さしすせそ	▶ d e f D E F 3	3
[4]	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶ サシスセソ	▶ d e f D E F 3 ※	3
[5]	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
	▶ たちつてとっ	▶ g h i G H I 4	4
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
[6]	▶ タチツテトツ	▶ g h i G H I 4 ※	4

文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
[5]	▶ なにぬねの	▶ j k l J K L 5	5
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶ ナニヌネノ	▶ j k l J K L 5 ※	5
[6]	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
	▶ はひふへほ	▶ m n o M N O 6	6
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
[7]	▶ ハヒフヘホ	▶ m n o M N O 6 ※	6
	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
	▶ まみむめも	▶ p q r s P Q R S 7	7
[8]	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶ マミムメモ	▶ p q r s P Q R S 7 ※	7
	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
	▶ やゆよやゆよ	▶ t u v T U V 8	8
[9]	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶ ヤユヨヤユヨ	▶ t u v T U V 8 ※	8
	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
	▶ らりるれろ	▶ w x y z W X Y Z 9	9
[9]	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	▶ ラリルレロ	▶ w x y z W X Y Z 9 ※	9

文字種	漢字	英字(全角)	数値(全角/半角)
○	▶ わをんわーへ。 ？！・空白(ｽﾊﾟｰｽ)	▶ 0ー空白(ｽﾊﾟｰｽ)	0
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	全角 ▶ ワランワ ー 空白(ｽﾊﾟｰｽ)	半角 ▶ ワラン	0
		▶ 0- 空白(ｽﾊﾟｰｽ)！＃ \$%&'()*+,-./:; <=>?@[\\]^_`{ }~	

※行頭に入力する場合は大文字が先に表示されます。

文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小全角/半角)	数値(全角/半角)	ダイヤル入力
✕	短押し...小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) °(濁点)や°(半濁点)を付加(可能な文字のみ)	短押し...小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ)	短押し...小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ)	短押し... (小数点)	✕
	▶ ．、？！・ 空白(ｽﾊﾟｰｽ)	全角 ▶ ．、？！・ ー&() ¥ 空白(ｽﾊﾟｰｽ)	半角 ▶ ．、？！・&()\n 空白(ｽﾊﾟｰｽ)		
	長押し...直近でコピー／切り取りした文字列を貼り付け				

文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小全角/半角)	数値(全角/半角)	ダイヤル入力
#	文字入力時は、1つ前の文字を表示(バック機能)	改行			#
	文字入力中ではない場合は、改行				
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小全角/半角)	数値(全角/半角)	ダイヤル入力
Ⓜ	サブメニューから機能引用、定型文などの呼び出し 全角/半角記号一覧の切り替え 顔文字編集画面を表示(顔文字一覧画面で履歴以外のカテゴリを表示中の場合のみ) 通常変換時、文節範囲縮小(文字種が「あ漢」で文字入力中の場合のみ) 範囲選択のキャンセル				—
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小全角/半角)	数値(全角/半角)	ダイヤル入力
Ⓢ	絵文字→D絵文字→全角記号(半角記号)→顔文字の一覧を表示 (D絵文字はEメール本文入力時のみ) 予測変換候補と通常変換候補の切り替え(予測変換を「ON」に設定時、文字種が「あ漢」で文字入力中の場合のみ) 通常変換時、文節範囲拡大(文字種が「あ漢」で文字入力中の場合のみ) 選択範囲の全選択(範囲選択中の場合のみ)				—
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小全角/半角)	数値(全角/半角)	ダイヤル入力
Ⓣ	文字種の切り替え カナ英数変換(文字種が「あ漢」で文字入力中の場合のみ) 文字種を「あ漢」に変更(文字種が「あ漢」「Abc」(半角)「123」(半角)以外の場合のみ) ページ／カテゴリの切り替え(絵文字／記号／顔文字／変換候補選択中の場合のみ)				—

文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
Ⓢ	範囲選択を開始 ページ/カテゴリの切り替え(絵文字/記号/顔文字/変換候補選択中の場合のみ)				—
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
↩	文字を確定直前の状態に戻す 削除した文字の復帰(連続5回分まで) ブラウザで変換候補を検索/他のアプリで変換候補を引用/学習した変換候補を削除(文字種が「あ漢」および「Abc」(半角)で変換候補選択中の場合のみ)				—
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
⬅	カーソルの左移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲縮小 *(ワイルドカード)入力の「*」を1文字削除				—
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
➡	カーソルの右移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲拡大 未確定文字入力中に*(ワイルドカード)入力の「*」を1文字入力(文字種が「あ漢」および「Abc」(半角)で予測変換を「ON」に設定している場合のみ) カーソルが文末にある場合は、半角の空白(スペース)を入力				—
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
⬆	カーソルの上移動 変換候補の選択				—

文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
⬇	カーソルの下移動 変換候補の選択 カーソルが文末にある場合は、改行				—
文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小,全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
⌫	短押し.....カーソル右側の文字を1文字削除 カーソル右側に文字がない場合は、 カーソル左側の文字を1文字削除 変換の中止(文字入力画面に戻る)				短押し1桁 削除
	長押し.....カーソル右側の文字をすべて削除 カーソルが文頭または文末にある場合は、文字をすべて削除				長押し待受 画面 に戻る

◎ 文字入力時は待受画面で◎→[設定]→[その他]→[ソフトキーボード]の「現在のキーボード」で「S-Shoin」が選択されていることをご確認ください。Androidキーボード(AOSP)は日本語入力に対応しておらず、文字が入力できないことがあります。

電話

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

ダイヤル画面が表示され電話番号が入力されます。

⬇️:カーソルの位置を移動

⬅️:カーソルの左側の数字を削除

⬅️(長押し):待受画面に戻る

📞(電話帳):電話帳を表示(▶P.61)

🔄:前回発信した番号に再度発信(リダイヤル)※

※電話番号未入力時のみ利用できます。

2 → 通話

🔊(スピーカー/OFF):ハンズフリー通話ON/OFF

🔇(ミュート/ミュート解除):ミュートON/OFF

📞(電話帳):電話帳を表示(▶P.61)

👤(プロフィール):プロフィールを表示(▶P.60)

🔊:通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節

🔇:くっきりトークON/OFF

🔒(保留):通話を保留※

※🔒(保留解除)を押すと保留を解除できます。

3

「電話帳に登録」を選択すると、発信した電話番号を電話帳に登録できます。

・本製品を閉じても通話を終了できます。

◎「電卓」/「タイマー」/「スケジュール」(カレンダー)/「アラーム」などの機能でダイヤル画面で入力した数字を引用することもできます。数字入力後に画面の表示に従って操作してください。利用できる機能は入力した数字により異なります。

◎「通話中」と表示されている場合でも、相手の方が電話を受けていないことがあります。相手の方が受けていることを確認してからお話しください。

◎送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)へは電話をかけることができます。

◎通話中にダイヤルキーを押すと、入力した番号のプッシュ信号を送信できます。

◎通話中に他のアプリケーションを起動したとき、通話中画面に戻りたい場合は⬅️を押して起動中のアプリを終了してください。

■緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

- ◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎ 日本国内の緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用した接続はできません。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ◎ 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に約2時間解除されます。

■P(ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に「はい」を選択すると、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 銀行の電話番号「030001XXXX」を入力

2 ◎ (発信等) → [特番付加] → [P付加] → 店番号「22X」を入力

3 ◎ (発信等) → [特番付加] → [P付加] → 口座番号「123XX」を入力

P(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

4  → [はい] → [はい]

送信先が電話を受けると、確認画面が表示されます。「はい」を選択して◎を押すごとにプッシュ信号を送信します。

■履歴を利用して電話をかける

1 待受画面で◎ (発信履歴) / ◎ (着信履歴)

◎を押すと、発信履歴／着信履歴を切り替えられます。

2 履歴から電話をかける相手を選択 → ◎

発信履歴／着信履歴詳細画面が表示されます。

・発信回数が表示されている履歴を選択して◎ (切替) を押すと、まとめられている発信履歴／着信履歴の情報を表示します。

3

発信履歴／着信履歴一覧画面で電話をかける相手を選択してを押しても発信できます。

◎ 発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大100件まで保存され、100件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■ 発信履歴／着信履歴一覧画面の見かた



- ① 発信日時
- ② 名前／電話番号／非通知着信の理由／ネットワークサービスの内容
- ③ 電話帳に登録している顔写真
- ④ 発信回数
同じ相手の発信履歴／着信履歴が連続した場合は着信／発信回数を表示します。
- ⑤ 呼び出し時間
呼び出し時間であることを示すアイコンが表示されます。
※約3秒以内に切れた不在着信は、お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください(ワン切り)。
- ⑥ 通話時間
- ⑦ 着信状態アイコン
 - ✓: 不在着信
 - ✗: 着信拒否
 - ☎: 代理応答
 - 🙅: 応答拒否

◎ 電話帳に登録していない番号から着信があった場合は、電話番号が表示されます。着信履歴詳細画面では「未登録の番号」と表示されます。

■ スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに登録した連絡先にすばやく電話をかけることができます。

■ スピードダイヤルに登録する

- 1 待受画面で◎→[電話 メール]→[スピードダイヤル]
- 2 登録したい番号の<未登録>を選択→◎(登録)
 - 連絡先が登録済みの番号を選択した場合は、発信などの操作ができます。
- 3 登録する連絡先を選択→◎

■ スピードダイヤルで発信する

- 1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0～99)を入力
- 2 

◎ 未登録のスピードダイヤル番号を入力してを押した場合は、スピードダイヤルの一覧画面が表示されます。スピードダイヤルの一覧から発信したり、新規にスピードダイヤルを登録できます。

◎ スピードダイヤルに登録された連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、スピードダイヤルの番号を入力して◎(メール)を押すとメールの作成ができます。

■ かんたん発信(音声認識)で電話をかける

かんたん発信(音声認識)を利用すると、スピードダイヤルに登録した連絡先にダイヤルキーを操作せずに音声で電話をかけることができます。

• スピードダイヤルへの登録方法は「スピードダイヤルに登録する」(▶P.57)をご参照ください。

- 1 本製品を開く／待受画面で (長押し)
メインディスプレイに (音声で発信)が表示されます。
- 2 本製品に向かって電話したい宛先を話す
電話したい連絡先の名前を話します。
- 3 表示された連絡先を確認→[はい]

ペア機能で電話をかける

ペアに登録した相手にすばやく電話をかけることができます。

■ ペア相手を登録する

1 待受画面で → で登録したい番号を選択

■ 電話帳から登録する場合

2 [電話帳から登録] → 登録相手を選択 → → [登録する]

■ 直接入力して登録する場合

2 [直接入力して登録] → 必要な項目を設定 → (保存) → [登録する]

◎ ペア相手が登録されているペア機能画面で  (サブメニュー) → [登録内容を変更] / [登録解除] と操作すると、登録内容の変更 / 解除ができます。

■ ペアに登録した相手に発信する

1 待受画面で → でペア相手を選択 → [電話する]

◎ ペア相手を選択 → [SMS作成] と操作すると、SMSを作成できます。また、ペア相手のメールアドレスを登録している場合は、[Eメール作成] でメールを作成できます。

au電話から海外へかける (au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例: 本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 国際アクセスコード「010」を入力

待受画面で  (長押し) と操作すると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

2 アメリカの国番号「1」を入力

3 市外局番「212」を入力

市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。

4 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力 →

◎ 電話番号の入力中に  (サブメニュー) → [特番付加] → [国際電話] と操作しても国番号を入力できます。

◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。

◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。

◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。

◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
 au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
 au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
 一般電話から☎0077-7-111(通話料無料)
 受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

電話に出る

お買い上げ時は、着信すると次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、メインディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、メインディスプレイに理由が表示されます。
 「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
 ※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

1 着信中に☐／●(応答)

- (サイレント)を押すと、着信音を止めます。
- ☐を押すと着信音量を変更できます。

2 通話

通話を終了する場合は☐を押します。

- ◎ LTE NET, LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、待受画面で●→[設定]→[その他]→[ネットワーク]→[データ通信設定]→[データ使用量]→⊕(サブメニュー)と操作し、「モバイルデータ」を無効にしてご利用ください。
- ◎ 電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。

着信を拒否する

着信を拒否すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

1 着信中に⊕(着信拒否)

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る

クイック返信すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

1 着信中に⊕(サブメニュー)→[クイック返信]

2 送信するメッセージを選択→●

- ◎ 送信するメッセージで「カスタム返信を作成...」を選択すると、SMSを作成してメッセージを送ることができます。
- ◎ 送信するメッセージを、あらかじめ「通話設定」の「クイック返信」で編集できます。
- ◎ 相手の方の電話番号が通知されない場合はクイック返信できません。また、通信環境によってはクイック返信できない場合があります。
- ◎ 送信するメッセージを選択するまでは、相手の方には呼出音が流れます。SMSを送信する前に伝言メモが応答する場合があります。

あやしい電話に代理応答する

知らない電話番号や電話に出たくない相手から電話がかかってきた場合に、音声メッセージで自動応答して通話を録音できます。

1 着信中に☎(代理応答)

迷惑電話防止のために自動で応答していること、通話が録音されることを相手にお知らせします。

- ・録音中に●(応答)を押すと電話に出ることができます。
- ・録音中に☎(応答拒否)を押すと、電話を受けることができない旨のメッセージが相手に流れた後、録音を停止し、通話を終了します。

◎ 録音した会話は音声メモリストから再生できます。

自分の電話番号を確認する

プロフィールを確認する

1 待受画面で●→[プロフィール]

プロフィールを編集する

1 待受画面で●→[プロフィール]→☎(編集)

プロフィール編集画面が表示されます。

2 必要な項目を入力

3 ☎(保存)

◎ プロフィール編集についての注意事項は、電話帳登録と同様です。詳しくは、「電話帳に登録する」(▶P.61)をご参照ください。

電話帳

電話帳に登録する

連絡先の電話番号やメールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。連絡先ごとに着信音やバイブレーションなどを設定することもできます。

1 待受画面で☎(長押し)

電話帳登録画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

3 ☎(保存)

- ◎ 電話帳一覧画面(▶P.61)で☎(新規登録)を押しても電話帳を新規登録できます。
- ◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- ◎ 名前に半角英数字が含まれる場合、電話帳では名、姓の順に表示されることがあります。
- ◎ GPS情報を登録するには、あらかじめ「位置情報」を「ON」に設定する必要があります。
- ◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音設定」は動作しません。
- ◎ 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

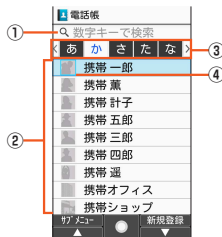
電話帳の一覧を利用する

電話帳一覧画面を表示する

1 待受画面で☎

電話帳一覧画面の表示方法が「グループ」の場合はグループ一覧画面が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面(名前順)》

① ダイヤルキーで検索

電話帳一覧画面でダイヤルキーを押すと、よみがなを入力して連絡先を検索できます。☎キーを押してよみがなを削除すると検索を解除します。

② 連絡先

選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。

③ タブ

④ 顔写真

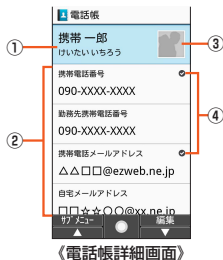
登録している場合は、顔写真が表示されます。

◎↺を押してタブを切り替えられます。

電話帳の登録内容を利用する

1 待受画面で☐→連絡先を選択→●

■ 電話帳詳細画面の見かた



① 名前

② 登録内容

③ 顔写真

④ メインの電話番号／メインのメールアドレス

◎登録内容を選択して●を押すと電話の発信、メールの作成などができます。

◎複数の電話番号やメールアドレスを登録しているときは、電話番号／メールアドレスを選択して●→[メインの電話番号に設定]／[メインのアドレスに設定]と操作すると、メインの電話番号／メールアドレスに設定できます。

◎@ (編集)を押すと、登録内容を編集できます。

メール

Eメールを確認する

受信したEメールは、「受信ボックス」に保存されます。送信済みのEメールは「送信ボックス」に保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振り分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。

送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは「未送信ボックス」に保存されます。

1 待受画面で✉

フォルダー一覧画面が表示されます。

2 [受信ボックス]／[送信ボックス]／[未送信ボックス]／フォルダを選択→🔍

Eメール一覧画面が表示されます。

- 🔄 (2行切替／3行切替)：Eメール一覧の表示を切り替えます。

3 Eメールを選択→🔍

Eメール詳細表示画面が表示されます。

- 🔄 (前)：前のEメールを表示
- 🔄 (次)：次のEメールを表示

◎「受信ボックス」の容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。

- ◎「受信ボックス」のすべてのメールが未読の状態で「受信ボックス」の容量を超えると、新着メールを受信できません。
- ◎「送信ボックス」／「未送信ボックス」の容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメールは削除されません。

■ フォルダー一覧画面の見かた

フォルダー一覧画面には、「受信ボックス」や「送信ボックス」、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」を選択してフォルダを作成すると表示されます。

- 「受信ボックス」に新着メールがある場合は① (赤色、数字は件数)が表示されます。受信メール一覧画面で新着メールを確認すると② (青色、数字は未読件数)が表示されます。未読メールがない場合は、アイコンは表示されません。
- 「未送信ボックス」にEメールがある場合は、③ (青色、数字は件数)が表示されます。送信に失敗したEメールがある場合は、アイコンが赤色で表示されます。



《フォルダー一覧画面》

- ① 新規作成
- ② 受信ボックス
- ③ インフォボックス
インフォボックスメールを表示できます。
- ④ 送信ボックス
- ⑤ 未送信ボックス
- ⑥ 作成したフォルダ
- ⑦ フォルダ作成
- ⑧ 未読・未送信メール件数

■ Eメール一覧画面の見かた



- ① ●: 未読のEメール
- : 本文を未受信のEメール

② 件名

③ 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス

電話帳に登録があるEメールアドレスの場合には、登録された画像／名前が表示されます。未登録のEメールアドレスの場合にはEメールアドレスが表示されます。

受信したEメールに差出人名前が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。

- 電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
- 宛先が複数の場合は、登録された画像が分割されて表示されます。

5つ以上宛先がある場合は、5つ目以降の宛先の画像は表示されません。

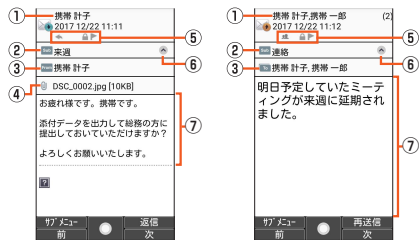
④ 添付データあり

⑤ 保護されたEメール

⑥ フラグ設定Eメール

- ⑦ ◀:返信したEメール／返信のEメール
 ➡:転送したEメール／転送のEメール
 ↔:返信／転送したEメール
- ⑧ 自動再送信するEメール
- ⑨ サーバにメールがなく本文を受信できないEメール／送信に失敗したEメール
- ⑩ 受信／送信切替スライダー
 フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》

《送信メール詳細表示画面》

- ① 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス
- ② Sub: 件名
- ③ From: 差出人の名前またはEメールアドレス
 To / CC: 宛先の名前またはEメールアドレス
- ④ 📎: 保存された添付データ
 📎: 保存に失敗した添付データ

- 📎: 保存されたインライン添付データ
 📎: 未受信の添付データ
 📎: 受信に失敗した添付データ
- ⑤ ◀:返信したEメール／返信のEメール
 ➡:転送したEメール／転送のEメール
 ↔:返信／転送したEメール
 📧: 複数の宛先あり
 📧: BCCの宛先で受信したEメール
 🔄: 自動再送信するEメール
 ⚠: 送信に失敗したEメール
 🔒: 保護されたEメール
 🚩: フラグ設定Eメール
- ⑥ ⚙: アドレス／添付ファイル
 選択して●と操作すると、Eメールアドレスと添付データの一覧を表示します。
- ⑦ 本文

Eメールを送る

- 1 待受画面で📧→[新規作成]
 送信メール作成画面が表示されます。
- 2 アドレス入力欄を選択→●

- 3** ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

アドレス帳引用	電話帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 ・グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用	受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 ・㊟(履歴削除)→Eメールアドレスを選択→●→㊟(削除)→[削除]と選択すると履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 ・㊟(履歴削除)→Eメールアドレスを選択→●→㊟(削除)→[削除]と選択すると履歴を削除できます。
プロフィール引用	自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス直接入力	メールアドレスを直接入力します。
貼り付け	コピーしたEメールアドレスを貼り付けます。

- 4** 件名入力欄を選択→●→件名を入力→●(完了)

- 5** 本文入力欄を選択→●→本文を入力→●(完了)

6 ㊟(送信)→[送信]

- デコレーションアニメには対応しておりません。
- 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To/Cc/Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
- 絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換されることがあります。
- 送信時確認表示は非表示に設定することもできます。
- 送信メール作成画面で㊟(保存)を押すと、作成中のEメールを「未送信ボックス」に保存できます。
- あらかじめ「自動再送信」を有効にしておくと、Eメールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。
- 本文には、最大20件(合計100KB以下)のデコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入したデコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

■宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→未入力アドレス入力欄を選択→●

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」の手順 3 をご参照ください。アドレス入力欄に宛先を直接入力しても、宛先を追加できません。

■宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→削除する宛先を選択→●→[削除]→[削除]

◎「To」を選択→●と操作すると、宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先の種類を変更することはできません。

Eメールを受け取る

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。

- ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。
ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
- 充電／着信ランプが青色に点滅します。
- 本体を閉じているときはサブディスプレイに、EメールアドレスまたはEメールアドレスを登録している電話帳の名前が表示されます。また、マークが表示されます。

2 待受画面で→[受信ボックス]

Eメール一覧画面が表示されます。

3 受信したEメールを選択→●

Eメール詳細画面が表示されます。

- ◎Eメールやその他の機能を実行中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」を無効に設定している場合は、バックグラウンド受信しません。
- ◎「メール自動受信」を無効に設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴りが表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶P.68)の操作を行い、Eメールを受信してください。

- ◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかることがあります。
- ◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- ◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

新着メールを問い合わせして受信する

「メール自動受信」を無効に設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせして受信することができません。

1 待受画面で☑

フォルダー一覧画面が表示されます。

2 ㊦(新着確認)

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 待受画面で☑(長押し)

待受画面で☑→☑(SMS切替)と操作しても表示できます。

2 [新規作成]

- ・過去に送受信した相手の方にSMSを送信するときは、受信ボックス内のメッセージを選択してもSMSを作成できます。その場合は、手順4へ進みます。

3 [電話帳呼出]／[直接入力]→相手先電話番号を入力

海外へ送信する場合は、宛先には相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力してください。

「010」+「国番号」+「相手先電話番号」

※電話帳などから相手先携帯電話番号を引用した場合は、もう一度宛先入力欄を選択して「010」と「国番号」を入力してください。

※相手先携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。

4 本文を入力

本文は、全角最大670 / 半角最大1530文字まで入力できます。

※国内・海外他事業者宛には全角最大70 / 半角最大160文字まで送信できます。

5 ㊦(送信)→[OK]

◎手順5の前に㊦を押すと、送信ボックス内のSMSに「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。

◎SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

・お預かり(蓄積)可能時間

72時間まで

※蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。

・お預かり可能件数300件

※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

・ **SMS蓄積後すぐに配信**

新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。

・ **リトライ機能による配信**

相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。

・ **通話を終了したときに配信**

蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎ 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。

◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換される場合があります。

◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに  が表示される場合があります。

◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。

- ・ 待受画面に新着SMSのアイコン、ステータスバーに  が表示され、メール受信音が鳴ります。
- ・ 本体を閉じているときはサブディスプレイに  が表示されます。
- ・ 充電／着信ランプが点滅します。

2 待受画面で (長押し)

3 [受信ボックス]→確認する相手先のメッセージを選択→

受信したSMSが表示されます。

受信ボックスの中にある未読のSMSには「未読」が表示されます。

- ◎ SMSの受信は、無料です。
- ◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
- ◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
- ◎ 本体メモリ(内部ストレージ)が不足した場合、SMSを正しく受信できません。
- ◎ データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

インターネット

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、待受画面で◎→[設定]→[その他]→[ネットワーク]→[ネットワーク設定]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作してください。

◎データ通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額／割引サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://www.au.com/support/>

ブラウザ

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

- ブラウザでWebページを表示すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.36)をご参照ください。
- はじめてWebページを表示したときは許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

■ ブラウザメニューを利用する

1 待受画面で

ブラウザメニュー画面が表示されます。

2

ホームページ	インターネットに接続してWebページを閲覧できます。
ブックマーク	登録したブックマークの利用・管理をします。
URL入力・Web検索	URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。
履歴	閲覧履歴を表示します。
My au	My auのホームページを表示します。
ダウンロード	ダウンロードの履歴を表示します。
設定	ブラウザの設定を変更します。
使ってみよう ～タッチクルーザーEXのススメ～	タッチクルーザーEXの操作について確認できます。

■ ブラウザ画面の表示／文字サイズの拡大／縮小をする

■ 画面表示の拡大／縮小をする

1 ブラウザ画面で[1] (縮小)／[3] (拡大)→

[1]／[3]を押すごとに、画面表示を変更できます。

- ・拡大／縮小の操作中は、を押しても画面表示を変更できません。

◎ 一部のWebページでは利用できない場合があります。

■ 文字サイズの拡大／縮小をする

1 ブラウザ画面で[4] (縮小)／[6] (拡大)→

[4]／[6]を押すごとに、文字サイズを変更できます。

- ・拡大／縮小の操作中は、を押しても文字サイズを変更できません。

◎ 一部のWebページでは利用できない場合があります。

■ タッチクルーザーEXで操作する

タッチクルーザーEXの機能を利用して、ブラウザを快適に閲覧できます。タッチクルーザーEXについて詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.36)をご参照ください。

- ・ブラウザを起動すると、自動的にタッチクルーザーEXが有効になります。

1 タッチクルーザーEXを使って操作する

タップ:項目を選択したり、決定します。

フリック:画面をロングタッチして「」を表示した状態で、画面を上下にスクロールします。

ダブルタップ:画像を拡大／縮小します。

◎ ブラウザを利用中にキーが動作しなくなったときは、タッチクルーザーEXを有効にするとカーソルの操作が可能になる場合があります。

カメラ

カメラをご利用になる前に

- ・レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- ・撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがつかないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- ・動画を撮影する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。
また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでパイプレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- ・マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- ・レンズ部に直射日光等の強い光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して静止画／動画が変色することがあります。
- ・本製品を暖かい場所に長時間置いた後に静止画／動画を撮影したり、保存したりすると、静止画／動画が劣化することがあります。
- ・カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。

- ・被写体がメインディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、静止画がぶれる原因となります。
- ・蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすいしま模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ・本製品のカメラで撮影した静止画／動画は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - ・強い逆光のもとにある被写体
 - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - ・暗い場所にある被写体
 - ・動きが速い被写体
- ・カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- ・太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようすると、静止画／動画が暗くなったり、静止画／動画が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- ・動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることもあります。
- ・暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。

- ・撮影モードの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- ・お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- ・電池残量が (残量約10%)以下の場合は、カメラを起動できません。
- ・次の場合は、カメラを使用できないことがあります。
 - ・長時間の使用により本体の温度が上昇した場合
 - ・冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合
 - ・他のアプリケーションを起動している場合

静止画／動画を撮影する

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

カメラはタッチクルーザーEXに対応しています。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.36)をご参照ください。

■ 静止画を撮影する

1 待受画面で

静止画撮影画面が表示されます。

:ズームアウト／ズームイン

:明るさの調整

 (設定):カメラの設定メニューを表示

 (プレビュー):撮影した静止画を表示

 (フォーカス):フォーカスをロック

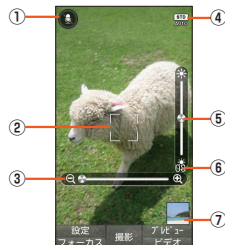
 (ビデオ):動画撮影に切替

:画面アイコンの表示／非表示切替

2 ● (撮影)

撮影し、静止画を保存します。

■ 静止画撮影画面の見かた



《静止画撮影画面》

① 音声認識

② フォーカスマーク

「顔優先AF」を設定している場合は、人の顔を検出してフォーカス動作を行います。ポインタで被写体の位置をタップすると、フォーカス位置を指定できます。

③ ズーム

④ 撮影モード

⑤ 明るさ調整

⑥ 撮影可能枚数

残り撮影枚数が99枚以下になると表示されます。

⑦ ミニプレビュー

直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。

◎ タッチクルーザーEXのポインタで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した静止画を再生します。

■動画を撮影する

1 待受画面で㊟(長押し)

動画撮影画面が表示されます。

⤵:ズームイン/ズームアウト

⬆:明るさの調整

⊞(設定):カメラの設定メニューを表示

Ⓢ(プレビュー):撮影した動画を再生

Ⓢ(フォト):静止画撮影に切替

⊞:画面アイコンの表示/非表示切替

2 ●(開始)

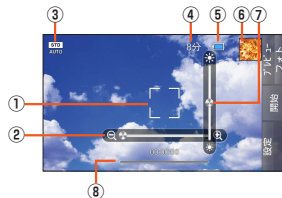
動画の撮影を開始します。

・動画撮影中にⓈ(撮影)を押すと静止画を撮影できます。

3 ●(停止)

動画撮影を終了し、動画を保存します。

■動画撮影画面の見かた



《動画撮影画面》

① フォーカスマーク

② ズーム

③ 撮影モード

④ 撮影残時間

⑤ 電池残量

⑥ ミニプレビュー

直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。

⑦ 明るさ調整

⑧ 撮影時間

◎ タッチクルーザーEXのポインタで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した動画を再生します。

テレビ

テレビについて

テレビ(ワンセグ)は、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信できます。

地上デジタルテレビ放送サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会

<http://www.apab.or.jp/>

■ テレビ利用時のご注意

- テレビの利用には、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はデータ通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビ画面表示中は、本製品が温くなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- テレビは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。
- 海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はテレビを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
 - 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
 - 山間部やビルの陰
 - 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
 - その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所
- 電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。
- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■ テレビアンテナについて

本製品にはテレビアンテナが内蔵されています。

■ 電池残量による動作

電池残量が (残量約10%)未満になるとテレビを起動できません。

テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するチャンネルリストを設定します。設定が完了すると、テレビ番組を見ることができます。

1 待受画面で●→[ツール]→[テレビ]

使用許諾画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

2 [地域を選んで作成]

地域が特定できない場合は、「チャンネルを探して作成」を選択して画面の指示に従って操作してください。

3 地方を選択→●

4 都道府県を選択→●

5 地域を選択→●

放送局の検索が開始されます。

6 チャンネルリストを確認→Ⓢ(完了)

テレビ番組を見る

テレビ番組を視聴する

1 待受画面で●→[ツール]→[テレビ]

Ⓢ(データ操作/テレビ操作):データ操作モード/テレビ視聴モードの切り替え

Ⓢ(画面回転):画面表示を縦画面/横画面に切り替え

■テレビ視聴モードでのキー操作について

テレビ視聴モードではチャンネルの切り替えや音量の調整ができます。

Ⓢ※1※2:音量調節(15段階の音量または消音)

Ⓢ※1:チャンネルの切り替え、長押しでチャンネルサーチ

Ⓢ○~[9]、[×]、[#]:チャンネルの切り替え

ⓈⓈ:終了

※1 画面の表示方法によって操作が異なります。

※2 Bluetooth®接続中はBluetooth®リモコンから音量の調節が可能となります。

ただし、Bluetooth®機器によっては音量の調節ができない場合があります。

■データ操作モードでのキー操作について

データ操作モードでは情報表示エリアの情報(データ放送)を利用できます。

Ⓢ:カーソル移動、スクロール

Ⓢ○~[9]、[×]、[#]:コンテンツで割り当てられた項目を選択

ⓈⓈ:項目を選択

ⓈⓈⓈ:データ放送の1つ前のページに戻る

◎ テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。

◎ 電圧状態によって映像や音声途切れたり、止まったりする場合があります。

◎ テレビ起動中はカメラを使用できません。

◎ データ放送を見る場合は、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、データ通信料がかかります。

■ テレビ画面の見かた



《テレビ視聴画面》

① 番組情報

番組タイトルや放送局名などを表示します。

② 映像

③ 字幕

字幕表示を有効にすると、字幕欄に字幕が表示されます。

④ 情報表示エリア

⑤ 音量

LINE

LINEを利用する

LINEはいつでも、どこでも、通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。

- LINEを利用するには事前にアカウントの登録が必要となります。利用方法などの詳細については、LINEのサイトや、LINEの画面→[...]→[設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 待受画面で●→[LINE]

LINEのトップページが表示されます。

初回起動時には利用規約やログイン画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。LINEを起動すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.36)をご参照ください。

◎ ゲームなど一部の機能は本製品では利用できません。

◎ 「ユーザー補助」の「Key Translator」をOFFに変更すると、LINE上でキーのフォーカス表示がされなくなります。「ユーザー補助」については設定を変更せずにご利用ください。

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 待受画面で●→[設定]

項目	概要
壁紙・ディスプレイ	壁紙や画面の明るさの設定などを行います。
文字サイズ・フォント	文字サイズやフォントを設定します。
マナー・音・バイブ	マナーモードの設定、着信時の音量や音、通知の設定などを変更できます。
au ID 設定	au IDを設定します。
省エネ・電池	長エネスイッチ設定や電池利用状況の確認ができます。
Wi-Fi	Wi-Fi®について設定します。(▶P.78)
Bluetooth	Bluetooth®について設定します。
位置情報	位置情報の設定をします。
クイック起動キー	▶P.49「クイック起動キーを利用する」
セキュリティ	端末のロックやセキュリティ、シークレットモードについて設定します。
その他	日付と時刻、言語選択、およびスクリーンセーバーなどを設定します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。Wi-Fi®を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

1 待受画面で●→[設定]→[Wi-Fi]

Wi-Fi®設定画面が表示されます。

2 [Wi-Fiの設定]

Wi-Fi®がONに切り替わります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 待受画面で●→[設定]→[Wi-Fi]

Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi®設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 アクセスポイントを選択→●

3 パスワードを入力→[接続]

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

◎アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。

◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用にできない場合があります。

■ アクセスポイントとの接続を切る

- 1 待受画面で●→[設定]→[Wi-Fi]
- 2 接続中のアクセスポイントを選択→●→[切断]

◎ アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

付録

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

1 待受画面で●→[設定]→[その他]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]

2	ソフトウェア更新	ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。 ●(実行)を押すと確認を開始します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードできます。 • すぐに更新する場合は、●(実行)を押し、画面に従って操作してください。 • 後で更新する場合は、「後で実行」を選択すると「24時間後に再表示します」と表示されます。「OK」を押すとアプリケーションが終了し、ステータスバーにが表示されます。ソフトウェア更新を行う場合は、ステータスバーから「ソフトウェア更新」を選択後、画面に従って操作してください。 • ソフトウェア更新が可能な場合には、ダウンロードするソフトウェア更新の内容が表示されます。
	更新通知設定	ソフトウェア更新が必要かどうかの通知を切り替える設定となります。 • 「ON」に設定すると、ダウンロードするソフトウェア更新の内容が表示されます。

■ご利用上の注意

- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、SHF34をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHF34をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新を実行すると、更新前と更新後に本製品を再起動します。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗することがあります。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(電話帳、メール、静止画、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります(連続更新)。

- 海外利用中は、Wi-Fi®接続時にのみ、ソフトウェア更新の機能を利用できます。Wi-Fi®に接続していない状態では、ソフトウェア更新の機能を利用することはできませんので、ソフトウェア更新を行う場合はWi-Fi®に接続してご利用ください。

ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください

- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。
- ソフトウェア更新実行中にできない操作について
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	 (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？ (▶P.40) - 十分に充電されていますか？
電話がかかれられない	- au ICカードが挿入されていますか？ (▶P.35) - 電話番号が間違っていないですか？ (市外局番から入力していますか？) (▶P.54) 「機内モード」が設定されていませんか？ (▶P.40) - 電源は入っていますか？ - 電話番号入力後、を押していますか？ (▶P.54)

こんなときは	ご確認ください
電話がかかってこない	- 電波は十分に届いていますか？ (▶P.40) - サービスエリア外にいませんか？ (▶P.40) 「機内モード」が設定されていませんか？ (▶P.40) - 電源は入っていますか？ - au ICカードが挿入されていますか？ (▶P.35)
ワンセグが映らない、映像が止まる、音声が進まない、ノイズが出る	- 地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？ (▶P.40) - テレビアンテナ付近を手でおおっていませんか？ (▶P.35)
カメラが動作しない	- 電池残量が少なくなっていないですか？ (▶P.40) - カメラの利用についてご確認ください。 (▶P.72)
キーの操作ができない	- 電源を切り、電源を入れ直してみてください。 - 電源は入っていますか？
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	を8秒以上長押しし、バイブレーションが振動した後、手を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？

こんなときは	ご確認ください
 (圏外)が表示される	- 電波は十分に届いていますか？ (▶P.40) - サービスエリア外にいませんか？ (▶P.40) - 内蔵アンテナ付近を手でおおっていませんか？ (▶P.35) - au ICカードが挿入されていますか？ (▶P.35)
「充電してください」などと表示された	電池残量がほとんどありません。(▶P.40)
電話が勝手に応答する	- 伝言メモが設定されていませんか？ (▶P.40) - マナーモードが設定されていませんか？ (▶P.40) - オートアンサーが設定されていませんか？
電話をかけたときに受話口から「ブーッ、ブーッ、ブーッ…」と音がしてつながらない	- 電波は十分に届いていますか？ (▶P.40) - サービスエリア外にいませんか？ (▶P.40) - 回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

お客さまセンターに電話して位置検索・遠隔ロックをかける／解除する

位置検索サポートをご利用になると、au電話の置き忘れや紛失時に、お客さまセンターがお客さまに変わってau電話のおおよその位置を検索したり、画面やおサイフケータイ®のロックをかけることができます。

一般電話からは  **0077-7-113**(通話料無料)

au電話からは 局番なしの**113**(通話料無料)

受付時間 24時間(年中無休)

・音声ガイダンスに従ってお手続きをしてください。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リパースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 電池パックなどの付属品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSHF34本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができない場合があります。）
 - ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - ⑤ 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

※本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■故障紛失サポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。

- ◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会できません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au電話を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPiItまでお問い合わせください。

■auアフターサービスの内容について

サービス内容			故障紛失サポート	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金の表を参照	
預かり修理	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料 (3年間保証)	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,000円	
	水濡れ、全損		お客様負担額 10,000円	
	盗難、紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

※金額はすべて税抜

■「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円／ 長期ご利用特典※1 3,000円	8,000円／ 長期ご利用特典※1 6,000円
「WEB割引」※2／「代 用機なし割引」※3の 両方を適用	4,000円／ 長期ご利用特典※1 2,000円	7,000円／ 長期ご利用特典※1 5,000円
「代用機なし割引」※3 のみを適用	4,500円／ 長期ご利用特典※1 2,500円	7,500円／ 長期ご利用特典※1 5,500円

※金額はすべて税抜

- ※1 3年目(25カ月)以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割(WINシングルセット割、またはスマホセット割)に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合が対象です。
- ※2 WEB割引: auホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込む場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。
- 「WEB 割引」の場合は代用機の貸出はできませんので、自動的に「代用機なし割引」があわせて適用されます。
- ※3 代用機なし割引: 「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。
- 詳細はauホームページでご確認ください。

オンライン交換受付(24時間受付)

※パソコン、スマートフォンからのみ受付可能

<https://www.au.com/support/service/mobile/trouble/repair/application/>

交換用携帯電話機お届けサービス

- ◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色※)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
- ※同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。
- ◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
- ※詳細はauホームページでご確認ください。
- ◎ 盗難、紛失など、本サービスのご利用と同時にau ICカードの再発行を伴う場合は、別途au ICカード再発行手数料1,900円が必要です。
- ### 預かり修理
- ◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- ◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

SIMロック解除について

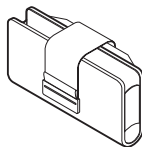
本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、待受画面で⑨→[設定]→[その他]→[端末情報]→[端末の状態]→[SIMカードの状態]から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器のご紹介

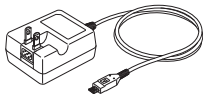
- 電池パック(SHF34UAA)
- 背面カバー(ロイヤルグリーン)(SHF34TGA)
背面カバー(シャンパンゴールド)(SHF34TNA)
背面カバー(ルージュレッド)(SHF34TRA)
- auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)
auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)
auキャリングケースHブラック(0107FCA)(別売)



auキャリングケースFブラック

- 共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)
共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)
共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)
共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)
共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)
共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L)(別売)

AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)
(L02P001N)(別売)



共通ACアダプタ05

・お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

■ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)

■卓上ホルダ(SHF34PUA)(別売)

■microUSBケーブル01(0301HVA)(別売)

microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA)(別売)

microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA)(別売)

microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA)(別売)

microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA)(別売)

■シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01
(SHX11QVA)(別売)

■テレビde写真受信機(0603RKA)(別売)

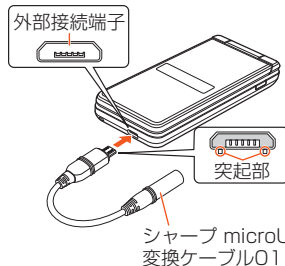
◎ポータブル充電器02(別売)では、本製品を十分に充電できない可能性があります。

◎周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
<http://onlineshop.au.com/>

スイッチ付イヤホンマイク／イヤホンを使用する

本製品に「シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)」を接続してイヤホン(市販品)を使用できます。

1 本製品の外部接続端子にシャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む



2 シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)のイヤホン端子にスイッチ付イヤホンマイク(市販品)／イヤホンマイク(市販品)／イヤホン(市販品)を差し込む

■ スイッチ付イヤホンマイク(市販品)で電話を受ける

1 着信中にスイッチ付イヤホンマイク(市販品)のスイッチを押す

通話を終了するには、スイッチ付イヤホンマイク(市販品)のスイッチを再度押します。

◎ スイッチ付イヤホンマイク(市販品)やイヤホンマイク(市販品)の種類によっては使用できない場合があります。

主な仕様

メインディスプレイ	約3.4インチ、約1,677万色、TFT、960×540(QHD)
サブディスプレイ	約0.9インチ、1色、有機ELディスプレイ
質量	約132g(電池パック含む)
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約51mm×113mm×16.9mm
メモリ(内蔵)	ROM:約8GB RAM:約1GB
連続通話時間(国内)	約810分
連続通話時間 (海外(GSM))	約560分
連続待受時間(国内)	約620時間
連続待受時間 (海外(GSM))	約670時間
連続テザリング時間	約520分
Wi-Fi®テザリング 最大接続数	10台
充電時間	共通ACアダプタ05(別売)使用時: 約130分 卓上ホルダ(SHF34PUA)(別売) 使用時:約140分
連続ワンセグ視聴時間※1	約7時間30分
撮像素子	CMOSイメージセンサー
撮像素子の有効画素 数	約800万画素

Bluetooth®機能	通信方式:Bluetooth®標準規格 Ver.4.1 出力:Bluetooth®標準規格Power Class1 通信距離※2:見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル※3: HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP※4、HID、PAN-NAP、PAN U、apt-X、SCMS-T、HOGP※5、DUN※6、Bluetooth LE GATT 使用周波数帯:2.4GHz帯
ネットワーク環境	無線LAN(Wi-Fi®)機能: IEEE802.11b/g/n(2.4GHz)準拠
インターフェース	microUSB端子

※1 使用条件により連続ワンセグ視聴時間は変わります。

※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

※4 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

※5 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。

※6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHF34】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.864W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.499W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすか

どうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ:

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

○シャープのホームページ:

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

○auのホームページ:

<https://www.au.com>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

Regulatory information

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SHF34 is in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

(<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>)

Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,

1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

• Description of accessories

Battery Pack	3.85V 1800mAh
Headset, Handsfree	Bluetooth
Micro USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD Card	microSD / microSDHC
nano UIM card	au Nano IC Card 04 LE/non- au Nano IC Cards non- au Nano IC Cards can be used after SIM-unlocking the handset.

• **Frequency range of supported bands in EU**

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8MHz Rx 925.2 to 959.8MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8MHz Rx 1805.2 to 1879.8MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6MHz Rx 2112.4 to 2167.6MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480MHz Rx 2402 to 2480MHz
WLAN 2.4GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW: 20MHz only)
NFC	Tx/Rx 13.56MHz
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375MHz)

• **Maximum transmit power**

GSM 900	+33dBm(Power Class4)
DCS 1800	+30dBm(Power Class1)
WCDMA FDD I	+24dBm(Power Class3)
Bluetooth	+7.7dBm(Power Class1)
WLAN 2.4GHz	+15.5dBm
NFC	0dBμA/m at 10m

■ **AC Adapter**

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

■ **Battery - CAUTION**

Use specified Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

■ **Volume Level Caution**



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

■ **Headphone Signal Level**

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 113 mV.

■ **Stand-by Mark**

⏻: This symbol means the stand-by on/off.

■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.644 W/kg* and when worn on the body is 1.240 W/kg*.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHF34
FCC ID	APYHRO00255
At the Ear	0.58 W/kg
On the Body	0.84 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety>.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。



- Wi-Fi®, Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected Setupロゴ、Wi-Fi Direct®, Miracast®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。



- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Microsoft®, Windows®, Microsoft® Excel®, Microsoft® PowerPoint®, Windows Media®, Exchange®は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 🌀は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Google™、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google™ 検索およびGoogle 検索 ロゴは、Google Inc.の商標です。
- 「LINE」は、LINE株式会社の商標または登録商標です。
- 内蔵音声認識エンジンは、株式会社アドバンスト・メディアの **AmiVoice®** を使用しています。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。



- ・「AQUOS／アクオス」「AQUOS」ロゴ「AQUOS K」「SHSHOW」ロゴ「タッチクルーザーEX」「パールビュー／VeilView」「エスショイン／S-Shoin」「長エネスイッチ」「LCフォント／LCFONT」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標または商標です。



- ・文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2017 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2017 All Rights Reserved.
- ・Portions Copyright ©2004 Intel Corporation
- ・本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- ・TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。



- ・「Suica」「モバイルSuica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。



- ・「楽天Edy」は、楽天Edy株式会社の商標または登録商標です。
- ・ハローページはNTTの登録商標です。
- ・どこから電話はソースネクストの商標です。

■ オープンソースソフトウェアについて

- ・本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、待受画面で
●→[設定]→[その他]→[端末情報]→[法的情報]→[オープンソースライセンス]をご参照ください。
- ・GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。
詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

■ License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り、ます)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See <http://www.mpegla.com>.

This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See <http://www.mpegla.com> for additional details.

お客様各位

■ お詫びと訂正 ■

このたびは、AQUOS K SHF34をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

『取扱説明書』の記載内容に誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに以下訂正させていただきます。

[訂正箇所]

■第2版での改訂

63ページ、64ページ「Eメールを確認する」-「フォルダー一覧画面の見かた」フォルダー一覧画面内および画面説明

誤	⑥ Eメール操作ガイド ⑦ 作成したフォルダ ⑧ フォルダ作成 ⑨ 未読・未送信メール件数
正	⑥ 作成したフォルダ ⑦ フォルダ作成 ⑧ 未読・未送信メール件数

90ページ「Regulatory information」枠内

誤	Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SHF34 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address: http://www.sharp.co.jp/k-tai/
正	Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SHF34 is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address: http://www.sharp.co.jp/k-tai/

■第3版での改訂

91ページ「Frequency range of supported bands in EU」表内

誤	LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5MHz Rx 2112.5 to 2167.5MHz
正	削除	

91ページ「Maximum transmit power」表内

誤	LTE Band 1	+23dBm(Power Class3)
正	削除	

94ページ「知的財産権について」-「商標について」
「Bluetooth」ロゴを変更いたしました。

■第3.1版での改訂

54ページ「電話番号を入力して電話をかける」のmemo欄

誤	◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
正	削除

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について（通話料無料）

受付時間 9:00～20:00(年中無休)

一般電話からは
 0077-7-111 | au電話からは
局番なしの157番

Pressing "zero" will connect you to an operator,
after calling "157" on your au cellphone.

上記の番号がご利用にならない場合、
下記の番号にお電話ください。(無料)

 0120-977-033 (沖縄を除く地域)

 0120-977-699 (沖縄)

紛失・盗難時の回線停止のお手続き について（通話料無料）

受付時間 24時間(年中無休)

一般電話からは
 0077-7-113 | au電話からは
局番なしの113番

上記の番号がご利用にならない場合、
下記の番号にお電話ください。(無料)

 0120-925-314

故障紛失サポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

受付時間 9:00～20:00(年中無休)

一般電話／au電話から
 0120-925-919



**キケン！
水ぬれ充電**

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



この取扱説明書は植物油インキで印刷しています。



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず、 マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2018年1月第3.1版

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

製造元：シャープ株式会社

TINSJB280AFZA

【LINEに関するお知らせ】

2020年3月31日以降、LINEアプリを起動していない間に受け取ったメッセージの通知、および無料通話の着信通知を受け取ることができません。アプリを起動すると、メッセージ受信や着信履歴を確認できます。

◎本お知らせの記載内容は、2020年3月1日現在のものです。予告なく変更することがあります。